

第5回安城市地区公園基本構想策定委員会 議事録

日 時:令和 8 年 5 月 11 日(月) 15 時 15 分～16 時45分

場 所:安城市役所 本庁舎 第 10 会議室

【出席委員】

伊藤孝紀	名古屋工業大学大学院工学研究科准教授
近藤早映	三重大学大学院工学研究科准教授
	東京大学先端科学技術研究センター准教授
吉武 駿	信州大学大学院総合理工学研究科助教
青木奈美	株式会社ザ・ソーシャル代表取締役
湯浅健司	愛知県都市・交通局都市基盤部公園緑地課長
高橋宏幸	安城市都市整備部長

【議事】

(事務局) パブリックコメントによる意見募集の結果を説明

(伊藤会長) ニシキゴイの意見には少し驚きました。また、思ったよりもコメントが少ないと感じています。その他、ご意見やご質問などがありましたら挙手をお願いします。

(伊藤会長) ご意見が無いようですので、議事について事務局案を承認し、そのまま進めていただくこととしてよろしいでしょうか。

(委員) 異議なし。

(伊藤会長) 異議がないものと認め、事務局案を承認します。議事はこれで終わりになりますが、この構想を一生懸命つくった後のことも考えることがとよいと思います。どのように進めていくほうがよいかなど、各委員の考えを事務局へ伝えていただきたいと思います。近藤委員から順番をお願いします。

(近藤委員) パブコメの意見を拝見し、多くは特定の公園に対して「こうあってほしい」という個人的な思いを書かれた内容でしたが、その中でも最初の意見は、この構想に込めた我々の思いや意図を汲み取ってくださっていると感じ、うれしく思います。手前味噌ではありますが、他では見ないような、誰が読んでも分かりやすく、なおかつ心に伝わる構想になったと思っています。この構想を大勢の人が目にする場所に置いていただくとか、学校に配っていただくとか、とにかくいろいろな人の目に触れるようにしていただくことよいと思います。これから、市民の皆さんが盛り上がっていくためには、この構想が目が届く場所にあるということがすごく大事ではないかと思っていますので、ぜひそこを工夫していただけるとよいと思います。

(伊藤会長) ありがとうございます。事務局もつくったからには周知していく努力が必要です。こ

の構想をつくる際にはシンポジウムを行い、市民に関心をもっていただくための取組みを行いました。これからもシンポジウムなどによりいろいろなことを発信していくとよいと思います。続いて、青木委員お願いします。

(青木委員) 私も近藤先生と同じで、最初の意見が本当にうれしいなと思いました。こちらが思っていることをしっかり汲み取っていただいたと思っています。だからこそ、ロードマップを記載してほしいという気持ちは分かります。時期は言えないと思いますが、ロードマップのイメージみたいなものを提示してあげることができると、より自分事として感じていただけるのかなと思っています。あとは、構想をつくって終わりにならないようにするためにも、各公園でいろいろなことを進めていき、ワクワク感を作るとよいと思います。各公園でスモールアクションを定期的に行い、ロードマップへ少しずつ反映できるとよいと思います。これらを現実的に進めることで、構想策定後の状況を市民に伝える機会になり、「自分ならこうしたい」など次のアクションを市民の皆さんに考えていただけるきっかけにもなると思います。次の展開として、そのような取組みを期待します。

(伊藤会長) ありがとうございます。確かに、社会実験のようなことを行うとよいと思います。実際に行うことで、市民も参加したくなると思います。続いて、高橋委員お願いします。

(高橋委員) 先ほどお話があったように、構想を少しでも前に進めることについては私たちも同じ考えです。今後は市内部でしっかり議論しながら、構想を具体化し、迅速に事業化できるように進めていきたいと思っています。

(伊藤会長) 早く進めていただくようよろしくお願いします。続いて、吉武委員お願いします。

(吉武委員) 私も皆さんと概ね同じ意見ですが、3つお伝えしたいことがあります。1点目は、最初の意見にもあったように公園のことだけを考える一般的な構想ではなく、エリアマネジメントにつながるような構想になったことはすごくよいことだと思います。公園の整備はお金がかかることですし、構想から整備まで長いプロセスを要するものだと思います。実際にどのような整備をするかを示すよりも、目指す姿と必要な手順・手続きのロードマップを示すことで、市が整備主体になるというパターンだけでなく、その動きを感じ取った民間事業者の方が自ら活動を起こしていただけることが重要です。その連帯を起こすことがエリアマネジメントの核たる部分だと思います。そういう意味でのロードマップをしっかりとスピード感を持って示せるとよいと思います。2点目に、今後の周知の仕方です。例えば盛岡市の中心市街地活性化基本計画の策定時には、パブリックコメントを夏休みに合わせてイベントのようなかたちで実施した例があります。デザイナーが計画案を提示する空間構成にも配慮し、意見聴取と体験的な部分を連動させてお子さんにも見ていただくような取組みが行われました。この

ような新しい伝え方も考えていくとよいと思います。最後に、この構想を整備として実現していくためには、構想から設計・整備のプロセスの中で、事業費や管理など公園部署だけではなく、市の各部署との合意形成が必要になると思います。今の段階から庁内でこういうことを目指していきたいという理念を共有していただき、整備のタイミングになったときに活発な議論ができるとうよいと思います。

(伊藤会長) ありがとうございます。委員の方々の話を聞いていると、社会実験などを進めながら、パークマネジメントだけに収まらず、エリアマネジメントも進めていくことが安城市のためにもよいと感じています。続いて、湯浅委員をお願いします。

(湯浅委員) 私は、どちらかというと安城市と同じ行政の立場となります。今回の意見募集の結果を見ると、6件ということで、確かに委員長がおっしゃるように少ないと感じています。また、最初の意見については、回答することが難しいと感じます。行政の立場として様々なスケジュールを決めることは簡単ではありません。直ちにと言うわけではありませんが、提示できるものがあれば示したほうがよいと思います。2番目の意見について、そのまま実施することは難しいかもしれませんが、別の方法を考えても良いかもしれません。例えば油ヶ淵水辺公園に水が噴き出て遊べる場所があります。そこは子どもたちが喜んで、平日でも非常に多くの人遊びに来ています。夏の熱中症対策という意味でも水を使うことを考えてはどうかと思います。

(伊藤会長) ありがとうございます。パブコメの意見の中には回答が難しいものもありましたが、その中でも行政としてできることは検討していくほうがよいと思います。これで基本構想も出来上がりますので、なるべく多くの市民の皆さんに知っていただき、社会実験としてさまざまな取組みを行いながらパークマネジメント、エリアマネジメントに活かしていくことが望ましいということが委員の皆さんからの意見です。少しでも早く実現していただくことをお願いし、議事を締めたいと思います。ありがとうございます。

【答申】

安城市地区公園基本構想策定委員会を代表して、伊藤会長より「安城市地区公園基本構想の策定」についての答申書が三星市長へ提出される。